映画のタネとシカケ現代日本映画編

著:御木茂則

なぜ好きな映画は何度も観たくなるのか? 現代日本映画にしかけられたタネとシカケを紐解く



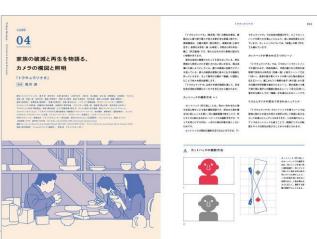
発売:2025年3月10日頃

A4/152頁

ご担当

本体価:3,000円+税

映画作りに携わりたい人、携わっている人、そして映画が好きな人に向けて、映画カメラマン御木茂則が現代日本映画にしかけられたタネとシカケを紐解く。2000年代以降に作られた映画11本の技術的な工夫(演出・映像・仕上げ)=「タネとシカケ」を読み解く内容は映画好きに堪らない1冊。



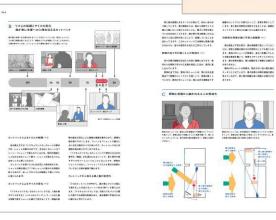
〈掲載作品〉

『そして父になる』 監督: 是枝裕和 『紙の月』 監督: 吉田大八 『凶悪』 監督: 白石和彌 『トウキョウソナタ』 監督: 黒沢 清 『永い言い訳』 監督: 西川美和

『ドライブ・マイ・カー』監督:濱口竜介 『モリのいる場所』監督:沖田修一

『たそがれ清兵衛』 監督: 山田洋次 『座頭市』 監督: 北野 武

『崖の上のポニョ』 監督: 宮崎 駿 『バトル・ロワイアル』 監督: 深作欣二



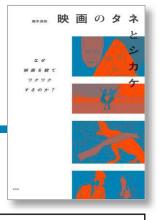
洋画のタネとシカケを知りたい方は ぜひこちらも

映画のタネとシカケ

発売:2023年3月

A4/128頁

本体価:2,200円+税



*追加注文用【返条付き注文扱い】 書籍 扱い ご注文数 映画のタネとシカケ

現代日本映画編 本体価:3,000円+税 ISBN:978-4-7683-2023-5

映画のタネとシカケ

本体価:2,200円+税 ISBN:978-4-7683-1746-4